

JATトピックス

JA広報誌の記事を中心に毎月
のトピックスを紹介します。

2012年9月



第10部に出陳した藤原広さんと同志会会員の皆さん



第8部に出陳した中村友作さん

第43回十勝総合畜産共進会（十勝農協連主催）乳牛の部が8月26日、音更町内の十勝農協連家畜共進会場（アグリアリーナ）で開催され、当農協より、第1部に久保田祝光（良幸さんの息子さん）、第8部に中村友作さん（由治さんの後継者）、第10部に藤原広さん、第11部に久保田良幸さんが出陳しました。

乳牛改良同志会会員の協力や皆様の応援のもと、見事3名の方々が、来る9月22日〜23日に勇払郡安平町早来にて開催されます2012北海道ナショナルシヨウの出場が決定しました。

第1部に出陳した久保田祝光さんは、農業高校卒で直接ナショナルシヨウ・ジュニアカップとリードマンコンテストに出場、第8部に出陳。1等賞4席の中村友作さんは第11部に出陳。1等賞2席の久保田良幸さんの3名が出場する事となりました。皆様の熱い応援をお願いします。皆様の熱い応援をお願い致します。

青年部 農協施設内 「環境整備事業」



青年部（澤田倫幸部長）は6月26日に、農協の美化運動の一環として、依田地区のコンバイン格納庫周辺と札内豊町の野菜集出荷センター周辺の草刈り、街路樹の枝払いをおこないました。青年部の皆様、有難うございました。

札内農協女性部

管外視察研修

7月17日から1泊2日の日程で、女性部管外研修旅行が行われ、部員13名が参加されました。

1日目は、今回の視察研修の一番の見所である「木下大サーカス」観覧です。世界三大サーカスの一つに数えられる木下大サーカスの89年ぶりとなる札幌公演は、連日大勢の観客で賑わい、世界猛獣ショーや地上15メートルで行われる決死の空中大車輪、空中ブランコショーなど多彩なプログラムで観客を魅了、部員一同に手に汗握る展開に大満足な2時間でした。その後一行を乗せたバスは、この日の宿である支笏湖に向かいました。宿泊先は、常に人気温泉ラ



ンキング上位に位置する、「しこつ湖鶴雅水の譚」です。オープン3年目の館内は洗練された雰囲気、温泉でしばし農作業の疲れを癒し、美味しい料理に舌鼓を打ち、居心地のいい琉球畳の部屋

では日頃忙しい日常を忘れ、お喋りに花が咲きました。

2日目は、昨年夏にリニューアルオープンした新千歳空港へ。商業施設が拡大し、エンターテインメント施設が新規オープンするなど、地域住民も楽しめる滞在型モールへと生まれ変わっており、特に北海道各地の素材に拘った店舗が軒を連ねる物販コーナーでは、あれもこれもと目移りしながら家族へのお土産を選んでいました。その後、一行は北海道キックマンへ。工場に入った瞬間から香ばしいしよゆゆの香りに包まれて驚きました。しよゆゆの製造工程を分かりやすく解説していただき、もろみの熟成の様子や、しよゆゆの色・味・香りを体験し、普段何気なく使っているしよゆゆについて、一同発見の連続でした。

(事務局・森 瞳)



恵庭岳に沈む夕陽（支笏湖畔より）



一体となる「北海道ガーデン」をコンセプトに4つの庭を展開しており、中でもガーデンデザインのナガ十勝の自然にイマジネーションを喚起された「メドウガーデン」に一同は感動の連続でした。

女性部

1泊バス研修

女性部の1日バス研修が8月20日に、実地されました。一行を乗せたバスは、音更町の柳月スイートピアガーデン・よつ葉乳業十勝主管工場へ。世間ではブーム到来の工場見学だけに、平日でありながら大勢のお客様で賑わっていました。その後、鹿追町に向かい大平原の小さな家での田舎料理バイキングです。地元で採れた新鮮な食材をふんだんに使っており素材本来の味には、目も舌も心も満足な様子でした。

午後からは、北海道ガーデン街道の「十勝千年の森」での北海道ガーデンショーを堪能。日高山脈と十勝平野の接点に位置し、北の大地にふさわしいスケールを持ち、自然の営みと